

パワーガイザー液剤FAQ

どの時期まで使えますか？

小豆では初生葉（最初の双葉）が開き切るまでに散布してください。大豆、菜豆（金時類）では子葉から初生葉が出始めるまでに散布してください。それ以降の散布は生育抑制を起こすことがありますので行わないでください。

散布ノズルは何を使えば良いのですか？

ドリフト（飛散）を避けるために除草剤用のドリフトレスノズルをお勧めします。

土壌乾燥時は散布水量を増やす必要がありますか？ 散布水量を減らさないですか？

どんな土壌条件（土質、土性、土壌水分）でも水量100L/10aで散布してください。

土壌処理型除草剤とパワーガイザー液剤の体系処理は出来ますか？

土壌処理型除草剤による豆類に対する影響がなければ、体系処理による影響はありません。ただし、パワーガイザー液剤1回処理でも除草効果は十分あります。

パワーガイザー液剤とアブラムシ用殺虫剤との混用、近接散布は出来ますか？

被害が助長されることがありますので、有機燐系殺虫剤との混用、パワーガイザー液剤散布前後の10日以内の近接散布は行わないでください。有機塩素系殺虫剤との混用、近接散布も行わないでください。

パワーガイザー液剤とイネ科雑草用茎葉処理除草剤との混用、体系処理は出来ますか？

被害が助長されることがありますので、混用、10日以内の近接散布はしないでください。パワーガイザー液剤は散布時に発生後～2葉期の「一年生イネ科雑草」にも効果がありますので、混用、近接散布の必要はありません。

パワーガイザー液剤散布後の降雨の影響はありますか？

散布後6時間以降の降雨には影響されません。また、6時間以内の降雨でも除草効果が全くなくなることはありませんので、2度撒きをしないでください。

気温の影響はありますか？

散布時高温条件（25度以上）では被害がでやすくなりますので、気温が高くなる日は日中の散布を避けてください。散布後低温が続くと、雑草を枯死させるのに時間がかかることがあります。最終的な除草効果には影響ありません。